

第9回

# パッケージイノベーションセミナー

## —社会環境の変化と多様な生活者がパッケージに与える影響—

開催日：平成30年10月26日(金)

会場：AP新橋 Dルーム

主催：公益社団法人日本包装技術協会

■開催にあたって

当会では、新しい包装の価値を創出するような情報の紹介を中心として、デザイン、マーケティング、販売戦略、分析情報、環境対応事例、感性工学・認知工学、消費者へのPR、海外情報等、様々な分野からのテーマで構成する「パッケージイノベーションセミナー」を開催しております。

今回は、社会環境の変化と多様な生活者に対応したパッケージ開発の様々なアプローチのご紹介をさせていただきたく、プログラムを編成いたしました。どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

時間	講演テーマ	講師
10:00 ▼ 11:10	<p><b>「消費財パッケージに影響を与える消費者のチカラ (欧米の最新容器・包装事例)」</b></p> <p>1980年から2000年初めに生まれた「ミレニアル世代」と呼ばれる人たちが、米国では消費のコア的存在になり始めた。彼らは生まれた時からインターネットがある環境で育ち、IT技術にも精通している。彼らの成長期には、金融危機が起こり、地球温暖化問題は彼らが社会的事象に関心をもち、自分達の将来を真剣に考える契機となった。彼らは自身の健康や自分たちの子供の将来についても独自の社会観を形成している。その彼らが、米国でベビープーマーに代わり、消費の中心を担うようになった。彼らはSNSを駆使した情報発信・共有で、消費財についても、そのパッケージについても、メーカーやリテールの製品企画・開発に大きな影響を及ぼし始めている。</p> <p>本講演では、米国の消費財パッケージに起こりつつある大きな「うねり」を、次の視点で考える。 ①パッケージデザイン・グラフィックス ②サステナブル・パッケージ ③インターネット・オブ・パッケージ(IoP)</p>	<p>株式会社 パッケージング・ストラテジー・ジャパン</p> <p><b>森 泰正 氏</b></p>
11:20 ▼ 12:30	<p><b>「MUJI 式デザイン思考と商品開発」</b></p> <p>近年注目されている「デザイン思考」(製品開発や問題解決にデザインの思考を取り入れる人間中心のアプローチ)について、どのように自社に取り入れて商品開発に活かしていくのか。世界でも人気の高い無印良品(MUJI)の商品開発では、どのようにデザイン思考を取り入れてMUJIらしい商品を作り出しているのか?具体例を入れながらお話をします。</p>	<p>千葉商科大学 人間社会学部 准教授</p> <p><b>増田 明子 氏</b></p>
13:30 ▼ 14:40	<p><b>「社会及び価値観の変化に対応する(花王の)商品デザイン開発」</b></p> <p>花王は社会の変化に則し、常に生活者に寄り添った商品デザイン開発をおこなってきました。</p> <p>現在は、デジタル化・グローバル化が加速し、地球規模での環境問題や経済情勢からごく身の周りの問題まで、誰でも、リアルタイムに膨大な情報を得ることができる時代です。また、SNS等を通して、気軽に自ら情報や意見を発信、共有できる時代でもあり、これらの社会の変化に伴い、生活者の価値観や購買行動も大きく変化しています。</p> <p>今回の講演では、実店舗とは違い、カスタマイズが可能になるeコマースでのデザイン開発、環境問題や価値観の多様化に対応するデザイン開発など、最近の花王の商品デザイン開発の取り組みをお話いたします。</p>	<p>花王株式会社 作成部門 パッケージ作成部 スキンケア担当部長</p> <p><b>能村 美穂 氏</b></p>
14:50 ▼ 16:00	<p><b>「デザイン心理学を応用したパッケージデザイン — Nudge (さり気なく仕向ける) と Evidence-based Design (科学的根拠に基づいたデザイン) の視点から—」</b></p> <p>2017年のノーベル経済学賞がシカゴ大学(アメリカ合衆国)のリチャード・H・セイラー教授に授与されたことをきっかけに、行動経済学(behavioral economics)の考え方が様々な領域において注目されています。行動経済学は、従来の古典的な経済学理論とは異なり、個々の人間やそのまとまりとしての企業の経済活動を心理学的な要因も取り入れて分析しようとするところに大きな特徴があります。セイラー教授は、著書「NUDGE」(ハーバード大学のキャス・R・サンステーン教授との共著:2008年刊)の中で、人間はしばしば非合理的な判断をしがちなので、それを避けるようにさり気なく仕向ける(それが「nudge」の意味です)ことが重要であることを述べています。なぜ「さり気なく」なのかというと、それは人間には「心理的リアクタンス」(強制されると反発したくなる気持ち)や「現状維持バイアス」(変化を避けようとする気持ち)等の特性があるからで、それは心理学の領域ではよく知られている特性です。これは、経済という極度に複雑で分析の困難な対象においても、心理学的知見が非常に有効であることを示しています。デザインの領域においても心理学的な視点がとても大きな効果を及ぼすことは、これまでのデザイン心理学の実践活動からも明らかです。そこで、本講演では、パッケージデザインを題材に、上記の「nudge」の概念や近年のデザイン界における潮流である科学的根拠に基づいたデザイン(evidence-based design)の視点からわかりやすくお話をしたいと考えています。</p>	<p>千葉大学大学院工学研究院 創成工学専攻 デザイン心理学研究室 教授 株式会社BB STONE デザイン心理学研究所 技術顧問</p> <p><b>日比野 治雄 氏</b></p>

## 講演者ご紹介

### ●森 泰正 (モリ ヤスマサ) 氏

株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長

1972年～2009年 三井・デュボン ポリケミカル(株)勤務  
 1988年～1990年 米国デュボン社 パッケージ事業部門に出向  
 2009年～2017年 三井物産(株) パッケージング・シニアアドバイザー  
 2015年1月 ㈱パッケージング・ストラテジー・ジャパンを有田氏(現有田技術士事務所所長)より承継、現在に至る。  
 海外と日本の最新パッケージング技術の融合を目指す活動を行っている。

### ●増田 明子 (マスタ アキコ) 氏

千葉商科大学 人間社会学部 准教授

早稲田大学商学部卒業  
 1996年住友商事(株)勤務(～2002年)を経て、2005年より㈱良品計画(～2004年)  
 早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了(MBA)。早稲田大学商学研究科博士  
 後期課程にて、マーケティング、消費者行動論を研究  
 2014年から現職  
 (著書)『MUJI 式 世界で愛されるマーケティング』(日経BP、2016年、単著)、  
 『ゲームチェンジャーの競争戦略』(日本経済新聞出版社、2015年、共著)

### ●能村 美穂 (ノムラ ミホ) 氏

花王株式会社 作成部門 パッケージ作成部 スキンケア担当部長

金沢美術工芸大学卒業。  
 1996年 日本ビクター株式会社 デザインセンター入社。  
 2001年 花王株式会社 パッケージ作成部 入社  
 ビューティケア/サニタリー/ヘルスケア/ホームケア等の国内外の様々なパッケージデザインを担当。2015年より現職。

### ●日比野 治雄 (ヒビノ ハルオ) 氏

千葉大学大学院 工学研究院 創成工学専攻 デザイン心理学研究室 教授  
 株式会社 BB STONE デザイン心理学研究所 技術顧問

1982年 東京大学文学部心理学科卒業  
 1990年 Ph.D.(カナダ国ヨーク大学)取得後、日本学術振興会特別研究員(PD:東京大学教養学部)を経て、同年千葉大学教養部講師  
 1992年 同助教授  
 1994年 配置換により工学部へ異動  
 2000年 大学院工学研究科デザイン科学専攻(2017年工学研究院創成工学専攻に組織改編)  
 デザイン心理学研究室教授  
 現在に至る  
 (資格)認定心理士  
 (著書)『デザインと色彩の心理学—朝倉実践心理学講座—』(編集:2013年朝倉書店刊)

## 開催要領

日時:平成30年10月26日(金) 10:00～16:00

会場:AP新橋 Dルーム

東京都港区新橋1-12-9 A-PLACE新橋駅前

定員:100名

参加費:会員20,520円(消費税8%、テキスト代含む)  
 \*同時に3名以上でお申し込みの場合には割引価格として  
 1名 16,740円  
 一般28,080円(消費税8%、テキスト代含む)

## 申し込み方法

- 下記申込書に必要事項を全て記入の上、FAXにてお申し込みください  
 協会 HP からの申し込みも出来ます。協会 HP: <http://www.jpi.or.jp>
- 申し込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします
- 開催 1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方が都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。  
 (当日、名刺をご提出いただけます)
- 開催 3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんので  
 ご注意下さい。

## お問い合わせ並びにお申し込み先

公益社団法人日本包装技術協会  
 パッケージイノベーションセミナー係 担当:竹内  
 〒104-0045 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル10F  
 TEL. 03(3543)1189 / FAX. 03(3543)8970  
 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第9回パッケージイノベーションセミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

## 【会場案内図】

AP新橋 Dルーム

東京都港区新橋1-12-9 A-PLACE新橋駅前

〒105-0004 東京都港区新橋1-12-9 A-PLACE新橋駅前

### ■交通手段: <JR線をご利用の場合>

- 「新橋駅」銀座口から徒歩1分
- <東京メトロ銀座線をご利用の場合>  
 「新橋駅」5番出口から徒歩1分
- <都営浅草線をご利用の場合>  
 「新橋駅」A2出口から徒歩2分
- <都営三田線をご利用の場合>  
 「内幸町駅」A2出口から徒歩4分



## 第9回パッケージイノベーションセミナー参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内行

FAX.03-3543-8970 No.

会社名						JPI 会員・一般 (どちらかに○をつけて下さい)
所在地	(〒)					
電話				FAX		
受講者	氏名	所属役職			e-mail	
	氏名	所属役職			e-mail	
	氏名	所属役職			e-mail	